

久留米市環境基本計画行動計画の進捗状況について(令和6年度)

1 計画の概要

久留米市は、めざす環境像である『自然と人間とが共生し、持続的な発展が可能な都市』の実現に向けて、第三次久留米市環境基本計画(以下、「基本計画」という)を策定しています。この基本計画では、めざす環境像の実現に向けたまちの姿を、『市民や事業者などすべての主体が高い環境意識を持ち、自ら取り組み、連帯して行動するまち(環境先進都市)』とし、その状況を把握するために、まちの姿指標を設定するとともに、基本目標・共通の視点を設定し、さらに、分野横断的に取り組む重点テーマを選定して、それぞれに成果指標を設定しています。

また、これら基本計画の実現に向けて施策を推進するため、久留米市環境基本計画行動計画(以下、「行動計画」という)を策定し、各施策体系別に事業を掲げてマネジメントサイクルに基づく進行管理を行うこととしています。

ここに、令和6年度の事業実績等を踏まえた進捗状況を報告します。

2 行動計画の事業進捗について

(1) 評価基準と事業の進捗状況

進捗度	A	B	C
	目標を達成できる	目標を概ね達成できる	目標達成に努力を要する
指標数	33	18	24

(2) 基本目標毎の取組状況

【基本目標 1 脱炭素社会の構築】

ア) 成果指標の進捗状況

成果指標	基準値	実績	目標	進捗度
久留米市の温室効果ガス排出量の削減	2,547t-CO ₂ (2013(H25)年度)	1,933t-CO ₂ (2022(R4)年度)	1,273t-CO ₂ (2030(R12)年度)	C
再生可能エネルギーの導入量	107,894kW (2019(R1)年度)	130,556kW (2024(R6)年度)	219,000kW (2030(R12)年度)	C

※令和6年3月に「久留米市地球温暖化対策実行計画」を改定し、目標を修正しました。

イ) 事業の進捗状況

進捗度	A	B	C
	目標を達成できる	目標を概ね達成できる	目標達成に努力を要する
指標数	7	5	11

ウ) 取組状況

- 再生可能エネルギーの導入促進に向け、太陽光発電システムを導入することのメリット等の情報提供や、建築物の ZEH、ZEB 化の支援を行いました。
- 省エネルギーの普及に向けて、環境負荷低減に寄与する新たな産業を生み出すため、新製品・新技術の研究開発支援や交流会を開催し、環境・エネルギー関連企業に対する支援を行い、支援実施企業数の目標を達成しました。
- 環境負荷が小さい都市への転換に向けて、自転車利用を促進するため、市中心部の自転車ネットワーク路線を中心に、自転車通行空間整備を進め、整備延長の目標を達成しました。

- ・ 建築物の脱炭素化を促進することを目的に、ZEH や住宅エコリフォームの工事費の一部補助を行い、住宅エコリフォームは目標を達成し、住宅性能の向上と省エネ化を進めました。
- ・ 市民・事業者の省エネに関する環境配慮行動を促進するため、イベント出展時等にエコファミリーへの登録促進を行いました。
- ・ 猛暑による健康被害を予防するため、健康教育や健康相談を実施して熱中症の正しい予防に向けた周知・啓発を行いました。

【基本目標 2 循環型社会の構築】

ア) 成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2019(R1)年度)	実績 (2024(R6)年度)	目標 (2025(R7)年度)	進捗度
市民一人一日あたりのごみ排出量	919g	836g	888g	A

イ) 事業の進捗状況

進捗度	A	B	C
	目標を達成できる	目標を概ね達成できる	目標達成に努力を要する
指標数	11	3	4

ウ) 取組状況

- ・ 2R+R の推進に向け、市民一人あたりのごみ排出量の削減につながるよう、地域・学校等を対象に3R 学習会や施設見学等を実施しました。
- ・ まだ使える家具等のリユースを進めるため、不用品を無償で回収し、点検・整備したものを販売するリサイクル宝の市事業を実施し、目標値を上回る来場者数となりました。
- ・ ごみの減量を図るため、家庭用の生ごみ処理容器や自家処理機器の購入費の一部補助を行い、生ごみや剪定枝等の自家処理を推進しました。
- ・ ごみの適正処理に向けて上津クリーンセンター及び宮ノ陣クリーンセンターにおいて、ごみ焼却エネルギーの有効活用及び焼却灰のセメント化事業を進めました。
- ・ 安定的なごみ処理施設の運営・整備に向けて、環境への負荷低減に配慮したごみ処理施設を運営するとともに、老朽化が懸念される上津クリーンセンターについて令和10年度中の新施設稼働開始を目標に、計画どおりに事業を進めました。

【基本目標3 自然共生社会の構築】

ア) 成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2020(R2)年度)	実績 (2024(R6)年度)	目標 (2025(R7)年度)	進捗度
生物多様性の認知度	26.9%	36.5% (2024(R6)年度)	60%	C

イ) 事業の達成事業

進捗度	A	B	C
	目標を達成できる	目標を概ね達成できる	目標達成に努力を要する
指標数	3	0	5

ウ)取組状況

- ・ 生物多様性への理解促進を図るため、自然観察会を行うとともに、啓発動画を制作し、配信しました。また、事業者との協働による観察会を実施し、積極的に生物多様性に取り組むまちづくりを進めました。
- ・ 絶滅のおそれのある野生動植物の生息地や生育域外での飼育と系統保存を行うとともに、外来生物や有害鳥獣の適正な防除を行い、希少生物の保全に努めました。
- ・ 自然環境の持続可能な利用に向けて、森林の適切な管理に努めるとともに、自然観察会等を実施するなど自然環境保全活動を進めました。

【基本目標 4 快適な生活環境の保全】

ア)成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2018(H30)年度)	実績 (2024(R6)年度)	目標 (2025(R7)年度)	進捗度
周辺環境の満足度	53.9%	62.2% (2024(R6)年度)	60%	A

イ)事業の進捗状況

進捗度	A	B	C
	目標を達成できる	目標を概ね達成できる	目標達成に努力を要する
指標数	6	6	1

ウ)取組状況

- ・ 健康で安全な生活環境の保全に向けて、大気汚染防止法や久留米市環境基本条例の規定の基づき、公害関係調査を実施し、ホームページ等で公表しました。
- ・ みどり豊かで美しい都市環境の形成に向けて、事業者との協働によりスポーツ GOMI 拾い大会を開催し、参加者数が目標値を達成しました。道路等の清掃活動を通じて、街の美化及び環境美化に対する意識向上を図りました。
- ・ 道路、公園、河川などで定期的に美化活動を行う、くるめクリーンパートナー制度の新規登録者数を増やすため、制度の周知に努めました。
- ・ 都市の緑の保全と緑化の推進を図るため、都市公園の整備を行い、整備面積及び整備箇所数は目標を達成しました。また、都市公園や周辺部の緑化整備を進めました。

【協働による持続可能な地域社会づくり】

ア)成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2019(R1)年度)	実績 (2024(R6)年度)	目標 (2025(R7)年度)	進捗度
くるめクリーンパートナー登録者数	21,899 人	21,025 人	23,000 人	C

イ)事業の進捗状況

進捗度	A	B	C
	目標を達成できる	目標を概ね達成できる	目標達成に努力を要する
指標数	7	4	2

ウ) 取組状況

- ・ 環境学習及び環境教育の推進に向けて、市民・事業者が環境配慮活動に積極的に取り組むまちづくりを進めるため、出前講座、環境学習会等を実施しました。また、動画配信による啓発を進め、動画再生回数も目標を達成しました。
- ・ 環境啓発の推進・環境意識の共有に向けて、環境配慮行動の実践を進めるため、ホームページや SNS 等さまざまな媒体を活用して積極的に情報発信を行いました。
- ・ 協働による環境配慮活動の促進に向けて、市民・事業者との連携・協働により学習会や体験講座等の環境啓発事業を実施し、啓発事業実施回数は目標を上回りました。
- ・ 人材の発掘及び養成を目的に「環境交流プラザサポーター」や「くるめエコめいと」の活動機会の拡充に努め、いずれの活動者数も目標を達成しました。

(3) 事業一覧

別紙のとおり

3 重点テーマの取組状況について

(1) 脱プラスチックへのチャレンジ・プラスチックフリー＆クリーン運動【重点テーマ 1】

ア) 基本的な方針

「海洋プラスチックごみによる新たな汚染を 2050 年までにゼロ」に向けて、市民団体や事業者など、さまざまな主体との連携・協働によるプラスチック削減に向けた運動を展開し、市民・事業者の環境意識の向上に取り組む。

イ) 成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2020 (R2) 年度)	実績 (2023 (R5) 年度)	目標 (2025 (R7) 年度)	進捗度
使い捨てプラスチック製品の使用削減に積極的に取り組む市民の割合	13. 6%	20. 4% (2022 (R4) 年度)	35%	C

ウ) 取組状況

プラスチックごみの削減に向けて、リデュース(発生抑制)を進めるため、マイボトル推奨店の紹介や地域・学校等での環境学習会の実施、広報紙等での普及啓発に努め、マイボトル推奨店については、目標値を上回る登録店舗数となりました。また、動画を制作、配信するとともに、小学校や学童保育所における3R 学習会で積極的に活用しました。

また、くるめクリーンパートナー事業やスポーツ GOMI 拾い大会、海洋プラスチックごみ削減啓発事業等を実施し、スポーツ GOMI 拾い大会の参加者数は目標値を達成するなどプラスチックごみの流出防止に向けた市民の意識向上を図りました。

(2) 久留米版エネルギー循環モデルへのトライ【重点テーマ 2】

ア) 基本的な方針

「2050 年に市域から排出される二酸化炭素排出実質ゼロ(ゼロカーボンシティ)」に向けて、市民・事業者と協働で地域の再生可能エネルギーの循環に取り組む。

イ) 成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2019(R1)年度)	実績 (2024(R6)年度)	目標 (2025(R7)年度)	進捗度
ZEB 化施設数(市有施設)	1 棟 (2020(R2)年度)	4棟	8棟	C
ZEB 化施設数(民間建築物)	1 棟	3棟	6棟	C

ウ)取組状況

市有施設の ZEB 化は総合幼児センターの ZEB 化が完了し、ZEB 化施設数は4棟になりました。また、えーるピア久留米の改修を開始しました。さらに、住宅の脱炭素化を図るため、ZEH 導入者に対して、費用の一部を助成しました。また、ごみ発電電力の市内供給検討事業を開始しました。

(3)学び・協働・交流のプラットフォームづくり【重点テーマ 3】

ア)基本的な方針

SNS 等を活用した情報発信や、市民や市民団体、事業者等が学びを通じて互いに交流ができるプラットフォームの構築に取り組む。

イ)成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2019(R1)年度)	実績 (2024(R6)年度)	目標 (2025(R7)年度)	進捗度
環境啓発ページへのアクセス数	77,784 回	107,878回	160,000 回	C

ウ)取組状況

ICT を活用したプラットフォームづくりについて検討するとともに、環境ポータルサイト「ecoco」やYouTube「久留米市エコチャンネル」など、ICT を活用した幅広い啓発に取り組みました。6月に開催した「WEB 環境フェア」では、市内高等学校や事業者の制作した動画を配信するとともに、WEB 上で市民団体や事業者の環境配慮行動を紹介するなど、内容の充実に努めながら、啓発ページの周知を図りました。

4 まちの姿指標について

令和6年度実績では、基準値よりも増えているものの、目標達成には至っていません。今後は、行動計画の事業をより一層確実に進め、市民・事業者の環境配慮の取組を促進し、めざす環境像の実現に向けて取り組んでいきます。

成果指標	基準値 (2019(R1)年度)	実績 (2024(R6)年度)	目標 (2025(R7)年度)	進捗度
日常で環境に配慮した取り組みをしている市民の割合	80.3%	83.2%	85%	B